



福寿草

鉢盛おろし

寒暖差？

今期の冬は、特に全国的に寒暖差が激しくなり、鹿児島で雪が降り、場所によっては一晩で2メートル近く積って、高速道路が数日間に涉って閉鎖になるところもありました。片や、連日の暖かさで、2月中旬に「春一番」が早く吹き荒れ、場所によっては5月上旬並みの気温になる所もありました。

最近では、春先の天気を表す言葉で「花粉」・「乾燥」・「強風」・「黄砂」・「寒暖差」の五つの言葉の頭文字「K」で始まる「春の5K」は注意すべき言葉でもあります。

4月になるまでは夏日に近い日や、雪が積もらないとしても降る事等の寒暖差があると思います。

コロナウイルスのワクチンが出回り始めるとは言え、コロナ禍にあり、まだ終息していませんので、体調にはくれぐれも注意をしたいものです。

朝日村公民館の分館再編成及び役員体制について



私も朝日村に暮らして40年ほど経ちますが、地区や分館の役員を何らか経験してきました。お夏まつりや分館の納涼祭といった公民館行事は準備等大変ですが、地域のみなさんが楽しんでいるとやっ得ることもできます。

しかし、公民館事業を取り巻く環境の変化により、事業のあり方について検討が求められています。少子高齢化に伴い、分館での役員のなり手不足や対象者がいない等地域にとっては切実な問題となっていて、私の地区も自分より若い世代は数えるほどしかいません。

これから先どうなっていくのだろうかと感じていた課題について、現在は5分館で運営していますが、人口のバランスも異なり、今後さらに問題が深刻化されることを考えて、10〜20年先も朝日村公民

館活動が更に活性化するように体制作りをするため「朝日村公民館の分館再編成及び役員体制について」を教育委員会と公民館長から社会教育委員会に諮問されました。



諮問を受け社会教育委員会では検討を重ね、分館長・主事と懇談会を開催し、それぞれの分館の意見を聞き、10年前と比較し地域の人口が減少していること、少子高齢化に

伴う役員のなり手不足は多くの地区で抱えている共通した課題であると再度認識しました。

困っている状況はそれぞれありますが、入三分館の厳しい現状について受入れ、今何らかの方策を講じる必要があると強く感じました。

懇談会に出された意見をまとめ、答申案が示されました。



答申

●運営委員数について

地域の行事については分館が主体となって自主的に行っていることで、それに係る運営委員の数については、これまで

でどおり本館から指示はせず、それぞれの分館の判断により検討していただき、役員選出及び業務の負担軽減につなげていただきたい。女性体育部は体育部に含める方向等で、役員数を減らすよう検討していただく。

●公民館行事について

本館が実施する事業については、分館にこだわらない内容について検討していただき、行事の開催日や役員の参加人数については今までのやり方に固執せず、参加者の増員が図れるように検討をお願いしたい。



●分館再編成について

人口の均一化だけを考えて再編成は、地域の活性化を妨げる恐れがあることから当面は見送り、地区や地域の行事

を継続していただきたい。
分館長や主事といった役職の選出が難しくなった場合は、本館とのつなぎ役を設ける等、今後も公民館事業に参加できる仕組みを検討していただきたい。



答申を受け取る清沢公民館長

公民館ではこの答申を受け、分館長・主事会で検討し、公民館の行事を見直し、役員の負担軽減を図っていきます。



朝日村図書館 インターネットでの蔵書検索が可能に

図書館を利用する方には嬉しいサービスが始まりました。自宅に居ながらインターネット上で朝日村図書館の蔵書を検索し、予約できるシステムです。詳しいお話を朝日村図書館の丸山さんに聞きました。



インターネットで蔵書検索

— 新しいサービスが始まったとのことですが、どういったものですか？ —

朝日村にはインターネットでの蔵書検索が無く、図書館に來ないと調べられなかったのですが、2月からご自宅のパソコンや携帯電話から蔵書検索ができるようになりました。



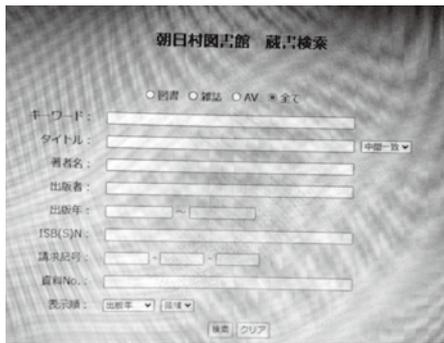
— 読みたい本が朝日村図書館にあるかを調べることができるのは便利ですね。 —

本があるかないかだけではなく、読みたい本が現在貸し出し中なのかどうかも分かりますよ。キーワード検索もできますし、本の概要も分かりますし、本の表紙も出るので分かりやすいですよ。



— 検索して読みたい本が見つかりました。その後は図書館に行つて貸し出されていなければその本を借りられるということでしょうか？ —

図書館に來なくてもそのまま予約することができます。予約するには朝日村図書館の利用登録をしていないといけません。利用登録していれば、お名前と電話番号、利用者番号を入力していただくだけで予約することができます。



検索画面

— 予約した本はいつ取りに行けばいいのでしょうか？ —

予約していただいた本は準備が出来次第、図書館の方から連絡して、取りに来ていただく仕組みになっています。連絡する際に家の電話番号だけでは無く、携帯電話番号やメールアドレスを入力しておいてもらうと連絡がスムーズですね。



— 本当に便利ですね。この蔵書検索の利用が増えていくと良いですね。 —

そうですね。昨年はコロナで図書館が閉館していたり、予約の貸出のみの対応だったりで、利用者の方に不便な想いをさせてしまいました。この蔵書検索を使えば約三万冊ある本の中からご自身が読みたい本を探して借りることができるので、是非、多くの

方に活用していただければと思います。



朝日村HPの案内「蔵書検索」

この蔵書検索は朝日村のホームページ上に「蔵書検索」のアイコンがあります。そちらをクリックしてもら

い、検索ページに自分が読みたい本の情報を入力すれば検索することができます。

とても便利なこの蔵書検索システム、皆さんもどんどん活用してみてください。



中央公民館と朝日小学校の工事についてお聞きしました

―朝日村中央公民館講堂改修工事― ―朝日村小学校トイレ改修工事―

◆改修工事の目的は？

中央公民館講堂天井内部にアスベストが確認され、これまで飛散調査を続けてきました。

アスベストが天井内部から飛散することはありませんが、地震等で建物が倒壊したとき、外部に飛散する恐れがあり、改修工事が行われました。

また、講堂は避難所に指定されているため、避難所の機能が果たせるように、耐震工事と空調設備の工事も併せて行われました。



床板の撤去状況

◆工事費用は？
設計監理と工事費を併せるとおよそ1億3千万円です。

アスベスト除去工事には、社会資本総合整備交付金(国の補助金)と一般

事業債(石綿対策)を財源に充

当し、耐震・空調設備工事は、緊急防災・減災事業債を財源に充当し施行しています。



アスベスト除去・強化された梁

◆工事の内容は？

中央公民館講堂の屋根を支える鉄骨梁にアスベストが吹き付けられており、そのアスベストを除去する作業を行いました。

耐震工事では、屋根の梁を追加し、壁にブレースを4カ所入れました。

空調工事では、ボイラーによる空調から、電源設備を改修しロスナイ空調と、天井に負荷がかからない置き型の冷暖房設備を設置します。令和3年3月31日竣工で施工中ですが、屋根の梁を受けるコンクリート製のブラケットが劣化しており、鉄骨製の変更に製作日数がかかるため、5月31日まで工期を延長します。利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解

とご協力をお願いします。

◆改修工事の目的は？

便器を和式から洋式化、湿式から乾式化、バリアフリー・段差解消です。



洋式トイレと自動洗浄手洗い

◆工事費用は？

設計監理と工事費を併せるとおよそ1億2千万円です。

学校施設環境改善交付金(国の補助金)と学校施設整備事業債を財源に充当し、施行しています。

◆工事の内容は？

これまでのトイレ(衛生器具)を撤去し、洋式のトイレに取り替えます。出入り口の段差をなくし、床を乾いた床に改修することで衛生的になり、ウイルスの繁殖や感染症予防につながります。

◆小学校ではコロナ感染症対策改修工事として、手洗い場の増設、自動水栓化、静養室設置工事等を行います。

今回小学校ではコロナ感染症対策改修工事として、手洗い場の増設、自動水栓化、静養室設置工事等を行います。

ですが、いずれも設備工事が主たる工事となるため、配管作業員の手配等が困難で6月30日まで工期を延長します。卒業式までには体育館棟が竣工し、順次利用できます。

◆小学校小柳津教頭からは、「子ども達が作業をする皆さんのひたむきな姿に感動しています。整然と並べられた作業員さんたちの靴をみて、子どもから「きれいだね」といった言葉も聞かれ、活きた学習の場となっていて大変ありがたい」と感想をいただきました。



きれいだね



バリアフリーされたトイレ入口



サラダの里通信

鬼わあ外 福わあ内



2月2日(火)あさひ保育園で豆まき会が開かれました。コロナ禍でいろいろな制約のある中、先生方が知恵を絞って一日中節分を楽しめるように計画を立てて行われました。

まずは「鬼退治のコーナーあそび」鬼オセロ、鬼の福笑い、わなげなどの各コーナーを密にならないように学年、クラスごとと少人数にわかれて遊びました。

そしてコーナー遊びが落ち着いたころ、鬼からまさかの電話が入ります。太鼓、シンバルの音が鳴りだします。しばらくして園内放送で「お知らせします！只今、保育園の近くに鬼が出ました先生の話をよく聞いて鬼退治の豆まきをしてください。」

そして、この状況下のなか参観日なども実施がむずかしい今、親子で少しでも思い出作りができるように、あいさつ広場の白いフェンスに鬼の壁面を貼り、お迎えの時間に豆まきをして帰ってもらうようにしました。

今年も、124年ぶりの2日の節分だったようですが、それ以上に普通には行えない行事をあさひ保育園では無理なく楽しく出来るように工夫をして、豆まき会を行いました。



「さい」と放送がながれた後、鬼が保育園を襲いにきました。本当に怖くて泣いて逃げ惑う子ども大勢いたようです。鬼は外へ出て各クラスを回り、子供たちは部屋から「鬼わあ外 福わあ内」と力いっぱい豆まきをして鬼退治をしました。

あさひのお店紹介

お持ち帰り専門 k's カフェ

introduction
Asahi Shop!



鋳造品溶接や研磨加工を取り扱う株式会社西南製作所を営んでいる樋口浩司さんは、コロナ禍で受注が激減した理由から、以前東京などで飲食店を営んでいた経験を活かし、テイクアウト専門店「K'sカフェ」と奥様が資格を持つ犬のトリミングサロン「M'sサロン」を事業内容に加え、令和2年12月、古見にオープンしたそうです。

看板メニューのピザは自作薪窯で生地もーから手作りで「ぼてまよミックス」と「シーフード」があり、生地はモチモチでとても美味しかったです。

メニューには地元野菜のスープやポテトフライ、コーヒーやジュース、ソフトクリームなどがあり、夏場はかき氷も考え中との事です。

営業時間は11時(夏は10時)から16時で、不定休です。

樋口さんは、「村民の方はピザ200円引きです。1日に仕込める生地に限られ、焼き上がりに時間がかかるので電話予約してください、お待ちしております。」

隣接した犬のサロンは、9時から17時で、土日のみの営業、要予約です。



熊久保だより

〜朝日美術館・民俗資料館発行〜

報告

「あさひっ」展

2月6日〜2月21日



昨年はコロナで休校も経験した朝日小学校児童たちですが、限られた時間の中、例年通り作品づくりに励んでくれました。鑑賞授業として来館する機会はありませんでしたが、親子または友だち同士で訪れる姿が見えました。

1年生はクレヨン画「みてみてあのね はじめての夏休み」「やぶいたかたちからうまれたよ」、紙版画「よく見たよ、自分の顔」2年生は水彩画「とろとろえのぐでかく」、3年生はスチレン版

画「いろいろうつつして」、4年生は木版画「宮沢賢治の世界」、5年生は水彩画「こんな木があったら…迷路のような不思議な木」というテーマの作品が並びました。

令和3年度 展示会のご案内

日本画展 会・相・愛

4月1日〜5月30日



伊藤百合さん《椿咲く郷》

NHK文化センター松本

i C I T Y 21教室の日本画講

師と受講生10名による合同作品展です。本展は昨年4月から開催する予定でしたが、コロナ対策のため4月9日より美術館が休館となったため、再開催するものです。こ

の一年間に制作された新たな作品も加え、気持ちも新たに開催します。



大窪むつ子さん《麦畑のはづなのに》

日本画の画材は岩絵の具、水干絵の具、墨、胡粉、箔など独特で、その特徴を活かしつつも伝統様式だけにこだわらない作品は作者それぞれの個性が十分発揮されています。きつとご想像以上に自由な日本画の世界を感じていただけることでしょう。

丸山孝志刺しゅう絵画展

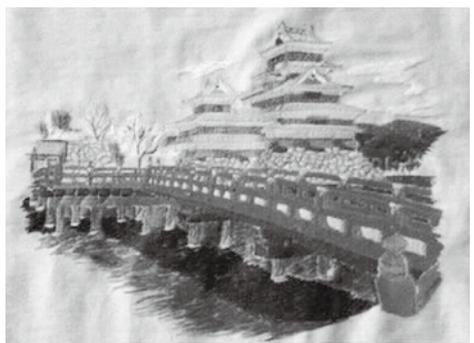
― 彩り ―

6月5日〜6月27日

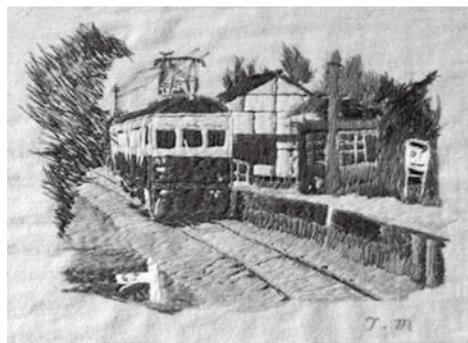
山形村在住の丸山孝志さんは刺しゅう絵画作家です。

丸山さんは10代の頃から「自然体」をテーマに写真や絵画などの創作活動を行って

きました。そんな丸山さんが刺しゅう絵画の制作を始めたのは4年程前のことです。



松本城を刺しゅうで描いた《国宝》



丸山さんが刺しゅうで描いた《ローカル線》

長年、フランス刺しゅうでされてきたお母様からのアドバイスもあり、かわいらしい動物画やのどかな風景画など、刺しゅうとは思えない繊細な色使いや描写力を見るこ

とができます。現在も意欲的に新作を作り続け、作ることに表現の幅を広げています。展示会では絵画刺しゅうを施した衣服も展示します。

野村剛展 ― 日常 ―

7月3日〜8月29日

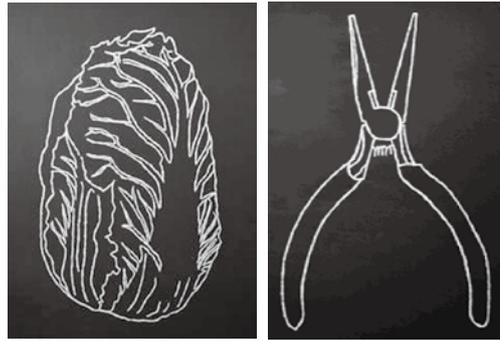


野村剛さん《夏の玄蕃之丞》

塩尻市出身の野村剛さんは色粘土で絵を描く粘土絵画を制作しています。雑誌のイラストの仕事なども手掛けていた野村さんですが、新しい表現方法を模索していく中で色粘土を絵の具代わりにして描く方法にたどり着きました。現在、茅野市にアトリエを構え制作に打ち込んでいる野村さんは自分の身近にある風景や人、日用品などをモチーフに作品を

作り続けています。

最新作では新型コロナウイルスによって変わってしまった日常をテーマとした作品も展示します。野村さんは朝日村内のカフェ・シユトラッセでも作品を展示したことがありますが、大きな会場での展覧会は今回が初めてとなります。



反転してしまった日常を表現した粘土絵画作品

カミジヨウミカ展

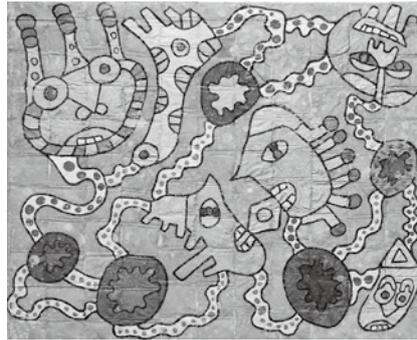
― 芋虫のような指で描く ―

9月4日～11月7日

カミジヨウミカさんは安曇野市で車いすの生活を送りながら絵を描いています。先天性疾患のため幼い頃から室内で過ごす時間が多かったこともあり、自然と絵を描いてい

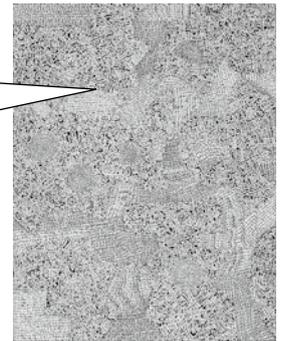
たそうです。

19歳の時、手術や入院でお世話になった病院スタッフの方へ感謝の気持ちで似顔絵を描きました。その絵が大変ユニークだったので、大笑いして喜ばれたことがきっかけで絵にのめり込んでいきます。それから独学で制作を続け、今年で25年になります。



《ニンゲンは宇宙人に必ずつながる》

ミカさんは自分の病気や夢で見たことなどを作品で表現してきました。カラフルでポップなものもあれば、緻密な文字とデザインで埋め尽くした呪術めいたものもあります。作品タイトルからもうかがえるように、ミカさんの独自の発想力と創造力は身体の制限をこえて、どこまでも広がっていきます。



部分拡大すると

《回虫が思いの丈を話す》

第4回朝日村高齢者作品展

11月13日～12月19日

朝日村の60歳以上の方が制作した作品展です。本展には毎回、近隣市町村から問い合わせが来るほど高い関心が寄せられています。昨年はコロナ禍で延期となりましたが、その間ステイホームで手作りされたものもあるのではないのでしょうか。作品募集はこれからですので、近所、お知り合いにお声掛けいただき、ぜひこの機会にご出品くださいますようお願いいたします。



第3回 朝日村高齢者作品展の会場風景

美術館収蔵作品紹介 ⑤

木村辰彦《犬(ロー)》

1954年頃 油彩

お座りのポーズで前方を見据える犬の姿。柔らかな光の差し込む部屋の情景が端正なタッチで描かれる「犬(ロー)」からは静寂な空間とそこに流れる時間を感じとることができ

ます。木村辰彦は大正5年に東京都で生まれました。中学中退後、二科会研究所で熊谷守一、石井柏亭、安井曾太郎に

師事し、一水会を中心に活躍しました。幼い頃から体が弱かった木村は日中戦争に徴兵されるも肋膜炎のために除隊、その後精神のバランスを崩してしまいます。木村に精神の安寧をもたら

また、高齢者作品展と同時に開催の「R3ベストセレクション」では、朝日美術館の収蔵品からその年のテーマに沿って学芸員が選んだ作品を展示します。





窓口情報

※本人の了承を得て掲載しています。

おめでた

地区名	出生児	月日	父	母
北村	田中 瑛心	12.12	美 究	マリアム
上組	青柳 福ノ助	12.24	勇 樹	由 香
古見	山本 絃斗	12.21	佳 典	萌々子
中組	小坂 玲奈	1.23	章 恭	子
向陽台	阿部 文紘	2.10	広 伸	裕 子

およろこび

氏名	地区名	氏名	地区名
宮下 裕太	(伊那市)	上條美沙紀	(南 上)

おくやみ

地区名	氏名	年齢	世帯主
上組	柳澤 隆子	101	柳澤 秀雄
新田下	高山 恵美夫	88	高山 若代
一の沢	上條 百合子	85	上條 吉人
下洗馬	中村 茂文	93	中村 順司
下洗馬	中村 大造	94	中村 明永
新田上	渡辺 八郎	91	渡辺 俊夫
上組	熊谷トヨ子	89	熊谷 昭吾
中村	清沢 薫	94	清沢 正毅
本郷	島田 哲	87	島田 ちなみ
沢下	川合 勝	93	本 人
沢上	二茅 三重子	96	二茅 倍治

スキーは楽しい!

北関東で生まれ育ち、進学や転職等で5つの県を転々としてきた。縁あって朝日村に住み始めてから8年。人生で2番目に長く暮らしている場所になった。今や2児の母だ。私は暑さと湿気が苦手。朝日の気候は私に合っている。

1月、初めてあさひプライムスキー場に行った。小学1年生の娘がスキー教室に行く前に、一度連れて行くことにしたのだ。朝日村に来てから、スキー板はホコリを被ったまま。久しぶりに履いたら、テン

ションが上がった。決して上手ではないが、「ハの字」くらいなら教えられるかなと早速レッスン開始。最初はおぼつかなかったが、なんとかできるような。

そしてスキー教室に行つて帰ってきた娘、リフトに乗れるようになったと嬉しそうに報告。「スキー行きたい!」と言うので、再びあさひプライムへ。まさか娘と一緒にリフトに乗る日が来るとは、少し感慨に浸る。

リフトから降りて滑り出してビックリ。思った以上にスルスルと滑って行く。スキー教室の先生の凄さを思い知る。気を抜



くと置いてけぼり。必死で追ううちに、私のスキー熱も久々に上昇。コロナ禍が終息したら雪を求めて遠征も良いな、と思う今日この頃である。

くまがい きょうこ
熊谷 杏子
(向陽台)

お台所エッセイ

146

『お台所エッセイ』募集中!!

日頃感じていること、思っていることなど、『お台所エッセイ』として、投稿してみませんか?
館報編集委員・中央公民館・教育委員会で申し受けますので、お気軽に投稿ください。

作品展示紹介

役場に入ると村民ホールでは、書や絵画が展示され、来庁者の目を楽しませています。

これは、村観光協会職員が定期的に村民の発表の場として、様々な作品を定期的に入れ替え展示しているそうです。

現在は、小野沢地域の皆さんからお借りした作品が展示されていました。

また、村民ホールには村内のクラフト作家が村産カラマツ材で製作したテーブルや長椅子などが置かれ、木のぬくもりを感じることが出来ます。

観光協会の上條喜美雄事務局長は、「多くの村民



が多様な趣味や特技をお持ちです。ぜひ、村民ホールを発表の場として活用してほしい。」と話していました。

役場を訪れた際は、ぜひ鑑賞してみてください。
《問い合わせは》
観光協会事務局
☎ 87-1935まで。

